

長

紙面編集・織田賢

(第3種郵便物認可)

公民館講座室

中高生への開放検討

市議会一般質問 学習利用で教育長

定例佐世保市議会は24日、一般質問を続行し、5議員が登壇。市教委は、市内各地の地区公民館の講座室を中高生らが利用できる自習室として開放することについて、「家庭の事情などで自宅ですっかりと学習できない子どもたちもいる。前向きに検討したい」という意向を示した。

田山藤丸議員(自民市民会議)の質問に西本眞也教育長が答えた。

市教委によると、現在は市立図書館(宮地町)が中高生などが利用できる自習スペースを2カ所設けている。市の公民館は28カ所あるが、講座室は市民のサークル活動など団体でしか使え用がでず、来館者の大半は60代以上。講座室を自習室として開放することで子どもたちの学びの環境を整

備し、幅広い世代の公民館の利用も後押しする。中高生らの学習環境やニーズの調査と、一部の公民館での試験的な開放に向けた準備に取り組む。

市は、格安の料金でバスが利用でき、路線バス再編で販売を終了した旧市交通局の学生向けの定期券「カレッジパス」についても言及。中島勝利企画部長は、現在路線バスを運営する西肥自動車(西肥バス)に対し、料金体系や制度の見直

しを含め導入の検討を要望していることを明らかにした。(嘉村友里恵)

相浦地区の農地活用
市長「ハードル高い」

佐世保市相浦地区で田畑として活用されていない広大な農地の転用について、朝長則男市長は「大きな課題で、非常にハードルが高い」と見解を示した。田山藤丸議員(自民市民会議)の質問に答えた。

農地は約40畝。過去には大型商業施設の整備も検討されたが、市中心部の商店街が反対。当時の光武頭前市長は商業利用を認めなかった。朝長市長は「何度か国と

検討した。いろいろな考え方を提示したが(活用)に至っていないのが現状」と説明。田山議員は「新たな人づくりとにぎわいづくりの核を整備すれば市全域の成長に必ずつながる。新しい時代にふさわしい土地利用を強く求める」とした。(嘉村友里恵)

きよしの質問者

(登壇順)
▼大村哲史議員(自民市民会議) 都市計画マスタープランの進捗状況、離島行政など
▼富島武雄議員(公明) 重症心身障害児の支援、

登下校時などの子どももの安全安心の強化対策など
▼小野原茂議員(市民クラブ) 登下校時の通学路の安全確保、佐世保市民文化ホールの活性化など
▼宮田京子議員(自民市民会議) 鹿町温泉やすらぎ館の施設整備、市内イベントの経済効果など



車いすバスケットボールを体験する

【佐世保市議会 6月定例会一般質問 6月24日 田山ふじまる】

- 子ども、子育て支援について
 - ・ 幼児教育の無償化と支援策の充実
 - ・ 利用定員と保育の質
 - ・ 保育者不足への対応策
 - ・ 子どもの安全とコミュニティ
- 地区公民館の役割と課題について
 - ・ これからの公民館の役割と課題
 - ・ コミュニティセンター化
 - ・ 誰もが利用できる自習室の設置
- 買い物弱者の対策について
- 相浦地区の将来ビジョンについて
 - ・ 文教地区としての機能をいかに高めるか
 - ・ 長崎県立大学のキャンパス整備を生かした地域連携
 - ・ カレッジパスの取り組み
 - ・ 次世代のための新たな地域核の形成